

カリキュラム 基本研修（講義）

	大項目	小項目	到達目標	講義時間 (h)	頁 (P)
	中項目				
第 1 章 人間と社会					
	1. 介護職と医療的ケア	①介護職の専門的役割 ②医療的行為をする上で、介護職に重要なこと ③介護職が医療的行為を行うに至った背景と意義 ④介護職員と医療職員の連携	①介護職の専門的役割について説明できる ②医療的行為をする上で、介護職に重要なことを説明できる	0.5	1
	2. 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	①制度の背景 ②介護福祉士法改正による制度	①この制度の背景となる社会のニーズを説明できる ②介護福祉士等が喀痰吸引等をできる要件について説明できる ③介護福祉士等が喀痰吸引等をできる行為について説明できる	1.0	9
第 2 章 保健医療制度とチーム医療					
	1. 保健医療に関する制度	①保健医療に関する制度 ②介護保険に関する制度 ③その他の制度	①保健医療に関係する主な法律を説明できる ②介護保険に関する制度を説明できる ③その他関連する制度を説明できる	1.0	14
	2. 医療的行為に関係する法律	①医療的行為とは（法的な理解） ②医療的行為と医療スタッフ ③介護職と医療的行為	①現行法のもとでの医療的行為について説明できる ②医療的行為に関係する法律について説明できる ③医療的行為とたんの吸引や経管栄養について説明できる	0.5	18
	3. チーム医療と介護職員との連携	①チーム医療とその実際（チーム医療の推進に関する検討会報告書より） ②たんの吸引と経管栄養についての医療職と介護職の連携	①チーム医療について説明できる ②チーム医療のチームを構成する主な職種を述べる事ができる ③たんの吸引と経管栄養についての医療職と介護職の連携について説明できる	0.5	22
第 3 章 安全な療養生活					
	1. たんの吸引や経管栄養の安全な実施	①安全にたんの吸引や経管栄養を提供する重要性 ②リスクマネジメントの考え方と枠組み ③ヒヤリハット、アクシデント報告	①安全にたんの吸引や経管栄養を提供する重要性を説明できる ②リスクマネジメントの考え方と枠組みを説明できる ③ヒヤリハット、アクシデントの報告が予防策につながることを説明できる	2.0	23
	2. 救急蘇生法	①応急手当の重要性 ②救急蘇生法の実際 ③気道異物除去	①救急蘇生について説明できる ②救急蘇生法を説明できる	2.0	29
第 4 章 清潔保持と感染予防					
	1. 感染予防	①地域集団、施設・組織としての予防策 ②手洗い、うがい	①感染予防策が理解できる	0.5	45
	2. 職員の感染予防	①職員自身の健康管理 ②ワクチン接種 ③手袋やガウンの装着 ④職員に切り傷がある場合や風邪の場合	①職員自身の健康管理について説明できる ②感染予防としての手袋やガウンの装着効果を説明できる ③職員に切り傷がある場合の感染予防法を説明できる	0.5	50
	3. 療養環境の清潔、消毒法	①居室、トイレ、キッチン ②排泄物、吐しゃ物、血液や体液のついた物 ③医療廃棄物の処理	①居室、トイレ、キッチンの清潔を保つ方法を説明できる ②排泄物、吐しゃ物、血液や体液の処理について説明できる ③針や血液のついた手袋の処理について説明できる	0.5	54